

## 佐久市佐久の先人検討委員会 議事録

日時：平成 23 年 10 月 3 日（月）

13:30～15:30

場所：佐久市生涯学習センター 102 会議室

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
  - 1) 先人紹介原稿のレイアウトについて
  - 2) 先人紹介原稿の確認について
  - 3) 今後の予定について
  - 4) その他
4. 閉会

### 質疑、意見交換等要約

#### ●先人紹介原稿のレイアウトについて

事務局：現在、先人原稿の並び順は便宜的に五十音順としているが、先人の活躍した時代の連続性、前後の人物との関連性などから、読んでいただく方の興味がより増すのではと考え、先人の並びを生年順とすることを提案させていただきたい。

また前回の委員会で、文章量を再検討し、先人に関連する施設、ゆかりの場所など情報を掲載してはとのご意見をいただいたが、執筆者からこれ以上文章量を減らすのは難しいとの意見もいただいていることから、先人に関連する施設・場所等は個々にではなく、一枚の地図にまとめて紹介することを提案させていただきたい。

監修者：生まれた順だと、市民や市外の人が良く知っている人物が後の方に来てしまう。

委員：年代を追いながら読めるので、生年順の方がよい。

委員：五十音順は探すのは便利だが、歴史的な人物なので生年順の方がよい。

委員：最初に目次を見て興味のある人から見ると思うので、生年順の方がよい。原稿の中に細かい地名が多く出てくる場合があるので、地図を作成する際はそういった場所を入れていただきたい。

委員：年代別にすると、歴史的に重なりあう部分が見えてくるので生年順の方がよい。

委員：人物と人物の関係・重なりが見えてくるので、生年順の方がよい。

監修者：自分に身近な時代から読む人も思うので、古い方からではなく新しい方から生年順に並べるという方法もある。

→原稿の並び順については生年順を基本とする。

先人に関連する施設やゆかりの場所の地図については原案どおりとし、内容について事務局でさらに検討を進める。

## ●先人紹介原稿の確認について

委員：できあがった原稿は小学校にも配るという話があったが、文章表現は中学生が理解できる程度とある。対象についてははっきりさせていただきたい。

事務局：以前に原稿作成を依頼した時は、学校の先生が適宜加工して授業等に活用することを想定していたが、教師の負担や、文章に一定の統一感をもたせる必要性を考慮し、小委員会を設置して検討した結果、中学生が読んで理解できる程度の文章とすることとなったもので、小学校に配布しないというものではない。

監修者：執筆者は、作成された原稿を教師が加工し、児童・生徒用の資料をつくるということで原稿を作成している。最近の新聞は中学生が読んで理解できる程度の文章になっている。

事務局：この事業は、先人の業績等が広く市民に伝わり、地域やふるさとに誇りや愛着を持っていただくことが基本的な目的であり、子どもにも読んでもらいたいが、一字一句を子ども向けにしようとするものではない。

→文章の表現については、学校における利用を前提とした一般向けの文章とする。

監修者：検討委員会では、歴史認識や人物の捉え方について時間をかけて議論すべき。

委員：この場で一人ひとり意見をいただくのは困難なので、再度原稿を確認していただき、後ほど事務局まで意見を寄せるようにしては。指摘事項のうち、細かい点については事務局で統一性をもたせ、後日執筆者を交えた検討会を開催してはどうか。最終的に市が出すものなので、客観性も必要となる。

委員：他人からの指摘は重要。様々な意見をいただいた上で執筆者が判断して修正し、最終的に監修者に見ていただければよいと思う。

→原稿については再度内容を確認し、気づいた点を後日事務局まで寄せていただく。

## ●今後の予定について

事務局：これまでの検討委員会における確認事項等を資料としてまとめ、網掛け部分を今後の計画を案として提案させていただいた。原稿の活用については、完成してからの話となるが、ご意見等があればお寄せいただきたい。

監修者：広報8月号に第一次選定分の18人の名前が発表されたが、継続したPR等が必要。市の施設で先人の写真展などを開催してはどうか。また広報に先人を簡単に紹介したものを毎月6人ずつ紹介してはどうか。

→先人検討事業に対する市民の期待を高めるため、原稿が発表されるまでの間、写真展や広報による紹介を含め、取り組み状況の周知について検討していく。

→歴史認識や人物のとらえ方については、執筆者とやり取りをする前に検討委員会で議論し、内容について再検討が必要か否かの大きな方向性を出す。